

第20回 大分県チャレンジ・ザ・バンク

〈テクニカルガイド〉



**OITA CYCLING
FEDERATION**

1 会場

(1)トラック競技会場

別府競輪場

〒874-0021 大分県別府市亀川東町 1-36 TEL : 0977-66-0796



2 日程

令和5年8月11日(祝) 8:00 ~ 16:00

3 受付

(1) 選手

(2) 配布物

・大会プログラム

4 開会式・閉会式

開会式:9:00 表彰式・閉会式 : 15:30

5 表彰式

(1) 表彰を受ける選手は5分前には集合・待機し、係の誘導を聞くこと。

1~3位まで表彰とする。

欠席した場合、その着位は「空位」として取り扱い、セレモニーを行う。

6 大会参加案内

(1) 駐車場について

第5駐車場及び第10駐車場を利用すること。

選手管理（検車場）側への駐車は、予め指定を受けた役員車両以外は厳禁とする。

別府競輪場第10駐車場 経路 →



(2) 別府競輪場の施設・敷地内利用について

・大会期間中は、場外発売が行われているため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。

※ホームストレッチ側の特別観覧席の利用は出来ません

（競輪の場外発売専用）ので関係者へ案内のこと。

・競輪場内のコンセントの使用は厳禁とする。

・場内に設置されているゴミ箱は使用しないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。

・屋外ローラー場の使用は認めるが管理棟1Fにあるローラー場の利用は厳禁とする。

・フィールド内でのローラーの使用は競技運営の支障をきたすおそれがあるため不可とする。

・喫煙は管理棟前・敢闘門付近(灰皿設置)のみとする。

・ビデオ及び写真については、観客席からのみ撮影可とする。

(3) 待機場所・自転車の保管について

待機場所・自転車の保管については、敢闘門～屋外ローラー場廻りを皆で共有すること。

尚 紛失、破損、事故等の責任は負わない。

また、備え付けの備品等には一切手を触れないこと。

ごみ等も必ず持ち帰ること。

(4) 指定練習について

9:10～9:30 トラックレーサー

9:40～10:00 (ロードレーサー、中学生、初心者)

①チーム関係者・引率責任者が選手の安全管理に責任をもって行うこと。

②入退場については、バック側に限定する。役員の指示に従って移動し、走路に入る際はアップシューズとする。

(5) 接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、

主催者は賠償等の責任は負わない。

7 大会特別規則 <共通事項>

1. 大会名 第20回 大分県チャレンジ・ザ・バンク

JCF競技規則2023年版、実施要項、および本大会特別規則により実施する。
本大会の特別規則は「大分県チャレンジ・ザ・バンク」
のための特別規則であり、他の競技大会に適用されたり、先例となるものではない。

2. 競技日程

令和5年8月11日（祝） 8:00 ～ 16:00

3. 大会本部

別府競輪場メインスタンド1F下審判室

4. コミッセール・パネル

競技運営委員長	高橋 文仁	大分県自転車競技連盟 理事
審判長	明珍 多久雄	大分県自転車競技連盟 理事

5. 使用機材

①ヘルメット

JCF公認ヘルメット、もしくは JKA認定品（競輪用）とする。
エアロヘルメットは T T 系種目のみ使用可能（競走系種目、練習では使用不可）
破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。
の競走系種目で使用するヘルメットは NO キャップが装着できるヘルメットとする。

②自転車

検車は実施しないが各自で安全に整備すること。
明らかに違反あるもの、整備不良と判断した場合は審判の指示に従い是正すること。

6. 救急措置（医療救護体制）

競技中の負傷疾病について、現場における応急措置を用意するが、
以後の措置については参加者自身の責任によって行うこと。
大会本部に医務・救護所を設置する。参加者は健康保険証を必ず持参すること。
参加者は各自でスポーツ安全協会等の保険に加入すること。

【近隣医療機関】

別府医療センター 〒874-0011
大分県別府市内竈1473番地
TEL：0977-67-1111(代表)

7. 招集

敢闘門付近に設ける。各競技者の出走予定時刻15分前までとする。

8. 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行は、アナウンスにより行う。

また、コミュニケ等の配信については、紙媒体での配布は行わず、連盟「X」にておこなう。

敢闘門付近へ速報のリザルト貼り出しを実施する。



9. 個人情報の取り扱い

選手、応援者及び競技役員等の大会参加者の個人情報（画像、映像、音声データ等）

については、本大会に帰属するとともに、大会の普及活動に利用する以外の目的に

利用することはない。

8 大会特別規則

1. 全般

競技規則第63条、第66条9～15項を熟読し遵守すること。

2. 400mタイムトライアル

400mのトラック1周で行う。

スタートはバックストレッチの中央線から単独発送で行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。（ロードバイク除く）

スターティング・マシーンに自転車をセット、準備完了後30秒カウントダウンにてスタートする。

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い

、速やかなスタートに協力すること。

ホーム、バック同時スタートにて実施（プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと）

フライングがあった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。

2回目は失格とする。

※詳細は、競技規則P69 第77条による。

3. スプリント

予選200mフライング・タイムトライアルは手動計時とする。

予選200mフライング・タイムトライアルは2周800mを走行するうちの最後の200mを計測する。

スタートはブルーバンドより、前競技者が1周回通過後に次走選手がスタートする。

予選上位4名による3・4位決定戦/決勝戦とする。

各対戦は1回戦のみにて勝者を決める。

※詳細は、競技規則P65 第73条、第74条による。

4. ケイリン

予選→決勝戦

400mのトラック4周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、

スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。

すみやかに追走しない際は、その競技者を除外し、再スタートする。

ペーサーはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、
フィニッシュ2.0周前の測定線（200m）を過ぎてトラックを離れるまでに、
徐々に50 km/h まで加速する。ペーサーは残り600m付近で離脱する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーが中央線においてトラックを離れる前にペーサーの
前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、

半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

コンタクトプレー等（第71条8項順守違反）については、厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダーについては、同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

※詳細は、競技規則P71第79条による。

5. スクラッチ

決勝：6km(15周回) トラック・ロード各実施

決勝：2km(5周回) ロード実施

周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラリゼーションは3周回（1,300m近い距離）、最後の1kmは競技に戻ることは出来ない。

最後の1kmで競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、

走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1番キャップ以外は先着順とし、

ホルダーはチームにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則P74第82条による。

6. ポイントレース

決勝：10km(25周回)

スタートの要領、遅れた選手の扱いはスクラッチと同じ。

ニュートラリゼーションは3周回（1,300m近い距離）、最後の1kmは競技に戻ることは出来ない。

最後の1kmで競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、

走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1番キャップ以外は先着順とし、

ホルダーはチームにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則P70第78条による。

7. 2 kmタイムトライアル

400mのトラック5周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。(ロードバイク除く)

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

ホーム、バック同時スタートにて実施(プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと)

フライングがあった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。

2回目は失格とする。

※詳細は、競技規則P67 第75条による。

8. チームスプリント

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。(ロードバイク除く)

チームスタッフ・引率者は、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

ホーム、バック同時スタートにて実施(プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと)

※詳細は、競技規則P72 第80条による。

9 スケジュール

AM	8:00	受付
AM	9:00	開会式
AM	9:10	トラックレーサー 練習走行
AM	9:40	ロード・ジュニア・初心者 練習走行
AM	10:00	スプリント予選
AM	10:30	スクラッチ 6 km 決勝
AM	11:00	ケイリン予選
AM	11:20	400mタイムトライアル 決勝
		休憩 昼休み
		Sparkle Oita Racing Team エキシビション
PM	12:45	スクラッチ 2 km 決勝
PM	13:00	ポイントレース 10 km 決勝
PM	13:30	スプリント 3・4位決定戦/決勝戦
PM	14:00	2 kmタイムトライアル 決勝
PM	14:15	ケイリン 決勝
PM	14:30	チームスプリント 決勝
PM	15:30	表彰式